

き開き 会摩護初 願祈興復 堂本

徳寺 山申 庚

真鍮(黄銅)の神様
で知られる庚申山広徳
寺(滋賀県甲賀市水口
町山上)の正月恒例行
事の初護摩(はつごま)
会式が17日開催され、

京都の伸銅メーカーや大阪・京都の伸銅品問屋組合関係者や、地元住民ら多数が参加した。本堂再建着工が計画されている今年、業界発展や家内安全と合わせて復興祈願が行われた。



参加者が見守る護摩焚と火をつける松明

見守る中、船原廣照住職の読経に始まり、比叡山延暦寺の流れをくむ飯道山行者講によって祈禱護摩が焚き上げられた。また、地元の伝統芸能である水口囃

子の「八妙会」7人が演奏を奉納し、集まっ

た人々を楽しませた。「庚申さん」の呼び名で親しまれる広徳寺は、桃山時代に日本で初めて真鍮が発明された地と伝えられており、江戸時代から全国伸銅・銅業界関係者

からの篤い信仰を集めてきた。申年の今年、12年に一度の本尊御開帳行事「仲開扉」に当たり、さらには3年前焼失した本堂の再建着手が予定されている。

真鍮の始祖、庚申山 広徳寺で初護摩式

京、大阪の伸銅品関係者が参拝

真鍮始祖の庚申山広徳寺(滋賀県甲賀市水口町)で、17日に恒例の新年初護摩式(写真)が行われた。京都の伸銅メーカーや大阪伸銅品問屋組合、京都伸銅品問屋組合など関係者が参加し、今年の伸銅業界の発展を祈願した。



例年、山上には雪が残る寒い日が多いものの、今年はずいぶん暖かく、多くのハイカーや地元の人々など多数が見守るなか、比叡山延暦寺の流れをくむ山伏による問答、祈禱が行われた。その後、広徳寺住職の読経があり、二つの松明によって火がつけられて護摩供養が

スタート。本堂の再建復興、伸銅業界の隆盛、商売繁盛、家内安全、諸願成就、厄除開運などが祈禱された。今年、12年に一度の申年で、伸開扉の年にあたることもあり、地元水口(みなくち)町に江戸時代から続く伝統文化の水口はやしが披露された。

2016. 1. 19
新報

2016. 1. 19
新報